



平成30年度 山梨県立吉田高等学校

やらまいか

～自分に熱く語りかけ、自分への期待を高める～

平成30年7月10日(火)発行

4月の入学以来、早3ヶ月が過ぎ、吉田高校1年の1/4が過ぎ去りました。生徒達は、日々わずかずつではありますが、中学生から高校生へと成長しています。学習、部活動、学校行事など求められる水準は高いですが、これから過ごす9ヶ月で、生徒各自が、より大きく成長するように、1学年職員は全力でサポートしていきますので、保護者の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。

■ 4月から伝えてきたこと

何事にも自らの考えを持って主体的に臨む 『情熱を注ぐ楽しさ』を実感する

● 10年、20年後の未来はどうなっているのでしょうか。

今ある仕事の多くが、人工知能の導入や社会構造の変革によってなくなり、一方では新たな職業が生まれるなどと言われています。変化の激しい時代を切り開く、生き抜く人間が求められている現状です。20年後の社会とそれに向けた教育改革により、大学入試も、この新入生が受験生となるときに新しい形式で行われることとなります。そうした中で吉田高校の教育方針は、まさにその求められる姿に合致したものだと考えています。

吉校GPの設定は、教育目標を具体化することによって、毎日の活動の中で意識させ、生きる力を養うことにつながります。また、他校に先駆けてのクラッシーの導入は、活動実績を蓄積することによって、大学や社会が求める力をデータとして示すことができます。

● 1学年としての具体的な実践目標。

学年のカラーは赤です。キャッチフレーズは「情熱の赤」です。燃えるような熱い心と、暖かい思いやりの心、の赤です。特にお伝えしておきたいことは、授業に対して「何のために学ぶのか」学習の意義を生徒と教師が共有しながら、「何が問われているのか」を考える力を養うことです。単なる話込みではなく、主体的に熱い好奇心を持って授業に参加することで、学びを人生や社会に生かそうとする、人間性を身に着けることができます。

また文武両道を推奨します。学習と部活道の両立により、多少の困難があってもくじけずに粘り強く努力し、克服していく姿勢を養うことができます。

次に、学校行事やボランティアなどの活動です。学園祭や奉仕活動によって、集団の中で周囲と協力しながら、多くの人に支えられていることを自覚し、他を思いやり、また他に感謝できる暖かい心を養うことができます。

そうした結果、あらゆるものごとに誠実に丁寧に向き合うことができる人間を育むことができると信じています。日頃の心の在り方が大切であり、熱い気持ちをもって、日々の営みに心を傾ける、「人間力」を育てることが目標でもあります。

大きな目標と理想を掲げましたが、生徒たちの視線の先には大きな世界が広がっています。時に立ち止まり、時に迷うこともあるでしょう。

私たち教師は、そうした生徒の変化を見逃さず素早く把握して、早期に対応し寄り添っていきます。そこにご家庭の力が必要なのは言うまでもないことです。

ご協力を仰ぎながら、一緒に生徒たちの成長とその過程を見守っていくことを厚くお願い申し上げます。

■6月11日から教育実習生が実習を行いました。実習生が高校時代どのように過ごしたのか、また高校時代に感じたことなどを紹介します。

- 私は正直中学3年から英語がさっぱり分かりませんでした。そんな私も無事に大学に合格できたのは、1年生の夏に中学校の英語をもう一度やり直した事です。つまりいたところからもう一度焦らず戻ることは、重要ですし勇気が必要です。
- 私の一番の後悔は、1年生の時の過ごし方・・・私はいわゆる「暗記型」で、この勉強方法は全く通用しない。しかもこの勉強法の一番ダメな事は、実は【必要以上の事は絶対にやらない】という気持ちになってしまう事です。やっぱり「思考力」です！しかも考える事で【必要最低限度でいい】が無いということです。どうせなら力がついた方が良いに決まっている。
- 私は小テストや課題の取り組みが甘く、基礎が固まらないまま時間が過ぎてしまいました。授業も小テストも課題も部活も頑張るためには、まず「生活リズムを固定させる」ことです。習慣になってしまえば体の負担もぐんと減るので、部活との両立を目指すことができます。また生活を整えると授業の集中力も全然違います。まずは生活改善から。
- 1年生の頃は部活もあったので、誇れるほどの勉強時間ではありませんでした。だからこそ「計画的に学習」しました。どんなに忙しくても課題と小テストの勉強は手を抜かず、毎日かかさず力をいれてやりました。この取り組みは受験勉強の際に大きな力になりました。また受験が終わって分かったことは、学校のペースについて行けば受験は大丈夫ということです。学校の授業を信じ、それを中心に組み立ててみましょう。

■この夏のポイント【基礎基本に力を注ぐ・苦手科目をなくしオールマイティーに】

1年の夏期休業は「**苦手意識の克服**」「**4月からの復習**」の絶好のチャンスです。計画的に取り組みましょう。

■オープンキャンパスへの参加について

大学のキャンパスを訪問し、施設の見学・利用、教育内容や入試に関する説明を受けるなどの活動を通して、今後の文理選択・進路選択の意識を高めることが目的です。自主的活動としてポートフォリオに記録し、未来のイメージが描けるよう、ご家庭でもご協力ください。

■文理選択の日程・・・休業中にご家庭での話し合いをお願いします。

- 8月23日 文理希望調査
- 9月26日 生徒進路学習会
- 10月 1日 第2回進路希望調査
- 10月 5日 コース予備登録
- 12月10日 「コース本登録」

8月行事予定

8月の行事予定です。日々の予定の確認をお願いします。

日	曜	行 事
6	月	理数科宿泊学習会（～10日）
7	火	普通科登校学習会（～10日）
17	金	夏期課外（～22日）
19	日	オープンキャンパス（中学生対象）
23	木	大掃除、納め式、合同LHR、LHR、
25	土	全統高1模試
28	火	生徒会役員選挙告示
29	水	強歩大会事前健康相談



文責：1学年主任 岡 昌宏